

冬号 みどり通信

発行 21 世紀記念公園 麓山の杜管理事務所

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどり講習会】＊受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付申請者及び希望者

日時：令和 8 年 3 月 8 日(日)10:00~12:00

内容：庭づくりのポイント

＊樹木医による園芸に関する講座です。



新たな一年が始まりました。本年もよろしくお願いいたします。今年の冬は今のところ降雪量は少ないのですが、冷え込む日が多くあり生活をしていくうえでも大変ですね。早く春が来ることが待ち遠しい毎日です。そのような中でもロウバイや梅の開花のニュースをみるとホッとします。ただソメイヨシノはこの時季の寒さによって休眠から目覚め開花に向かっていきます。この寒さも植物にとっては厳しくもあり大事なものでもあります。右の写真は昨年の暮れに万両とオタフクナンテンで作った苔玉です。その植物によっては色形や名前から縁起物として愛でられてきたものがあります。



My ガーデニング・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

水やりの頻度は冬の間は少なくなります。しかし昨年雨や雪が少なく特に乾燥が続いています。軽い土などは風によって土埃として舞い上がっているような状況です。暖かい日を選んで水をあげるようにします。特に鉢植えの場合は寒風が乾燥を更にすすめます。冬の間枯らしてしまう大きな要因となります。寒さに弱い植物の場合は冷たい水をあげると根に障害を受けますので、少し温まった水をあげます。根元を腐葉土などでマルチングしておくことで寒さや乾燥を防ぐことができます。

【植替え】

常緑広葉樹はこの寒い時季は適しません。春の彼岸以降まで待ちます。常緑針葉樹も適期は彼岸前

後まで待ちます。この時季は落葉樹には、よほどの厳寒期を除けば適期となります。芽が動き出す 3 月いっぱいまでが失敗しにくいと思われます。常緑針葉樹も 3 月頃から 4 月初めにかけてが適期となります。植物の旬と植え替えなどの作業時期は別になります。これは草花などにも言えることです。

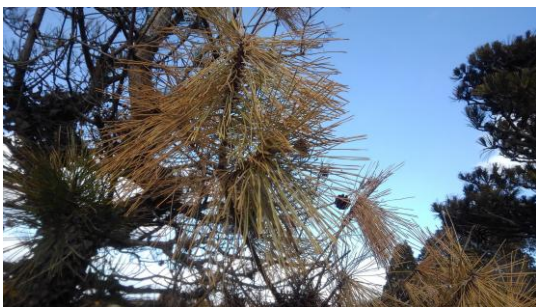
【肥料】

これからの時季にあげる肥料が植物にとっても大事なものととなります。寒肥といって有機質緩効性肥料が向きます。その代表的なものが骨粉入り油粕になります。油粕は肥料成分は少ないですが庭木には良い肥料です。あげ方としては根の周りをツボ穴状に掘って腐葉土などと混ぜて埋め戻してあげることがベストです。

量的には高さが 2 から 3 m の樹木ならコップ一杯ほどの油粕で大丈夫かと思われます。掘ることが大変な時には上からばら撒きにしても効果はあります。一度試してみてください。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。カイガラムシやアブラムシといった退治にくい害虫にはマシン油乳剤などで対応できます。ちなみにこの薬剤にもスプレータイプがあります。緑色した幼虫に刺されるとひどい痛みが出る、夏から秋にかけて発生するイラガはこの時期は小さな卵の殻に包まれた状態で越冬しています。枝に付いているので見つけ次第取り除くと発生が抑えられます。その他にも卵の塊のような状態で枝などについているものもいます。昨年の秋以降に庭に植えてある松までも枯れているのが多く見られます。マツノザイセンチュウによる松枯れですが夏の高温乾燥などによって弱り罹患しやすくなっていると思われます。薬剤散布で防ぐくらいしか手立てはありません。ゴールデンウィーク頃から年に数回、登録されている薬剤を散布するとマツノマダラカミキリの後食を防ぐことができセンチュウの樹体内への侵入を防げます。枯れたマツは放置せずに早く処分すると中に潜んでいるカミキリムシを退治できます。下の写真は枯れたクロマツです。



病気の予防は落ち葉などを処分することも大事になります。

【剪定】

この時季は落葉樹の剪定に向いています。彼岸前までなら太い枝なども剪定できます。ただし余りにも切りすぎると弱ってしまったり、観賞価値が下がってしまいます

のでほどほどに。既に花芽もできている樹種もあります。それを見極めながら剪定を行わないとせっかくの花が少なくなってしまいます。一般的には大きく膨らんでいる芽は花芽になると思われます。常緑広葉樹（サザンカやキンモクセイなど）は 4 月以降に剪定を行います。この寒い時季に行くと弱ってしまいます。マツ類はこの時季には混みあった枝を透かしてあげるとすっきりとした樹形になります。大きくなりすぎたコニファー類は春暖かくなってから剪定を行うと小さくすることも可能になります。

【この時季の草花】

下の写真は昨年暮れに植えこんだビオラです。軒下に取り込んでおくので寒さの害も受けにくく順調に育っています。露地に植えこんだ場合は寒さによって縮れたような状態かもしれませんが、暖かさを感ずれる時季になると一気に茂ってきます。以前はパンジーやビオラは春に植えこむのが一般的でした。



この時季の寄せ植え



この時季に店先に並ぶ草花は限られます。同じ環境を好むもので合わせます。色も同系色でそろえたほうが無難です。

今回はエリカ、ガーデンシクラメン、ビオラ、プリムラジュリアン、ハボタン、シロタエギク、アイビーを使いました。この時季の寄せ植えは混ませて植えたほうが綺麗に見せることができます。明るい窓辺において管理し陽に当ててあげます。ただし乾燥には注意してください。